

第二成増幹線整備事業に関する説明会（令和5年2月17日（金）開催）質疑応答一覧

項目	No.	ご質問・ご意見	回答
計画に関すること	1	マンション建築時に雨水樹を設置し、溜めるよう推奨された。第二成増幹線を整備するなら過去に浸水被害が発生した箇所以外でも浸水する可能性があるため、しっかり調べて雨水対策をしてもらいたい。	過去の浸水被害以外の場所も、下水道の雨水排水能力を調べて雨水対策を行っていきます。今回、第二成増幹線を整備することで流域全体の雨水排水能力は、向上します。 また、大規模な建物を建てる際の雨水を浸透させる施設や溜める施設を整備することも浸水対策に有効ですので、引き続きご協力をお願いいたします。
工事に関すること	2	第二成増幹線の工事で夜間作業はあるのか確認したい。	トンネル工事のうち、シールド工事施工時は防音ハウスを設置し、昼夜間連続施工を予定しています。それ以外の立坑施工時、取水施設工事、吐口工事は、昼間施工を予定しています。
	3	トンネル工事は、夜間作業があるということだが、何時頃まで施工するのか。	
	4	調布市の陥没事故があったが、第二成増幹線は大丈夫なのか確認したい。	今回掘削する箇所は、主にN値50以上の砂礫層という固い地層であり、建物への影響はほぼないと考えています。調布市の陥没事故が発生した場所とは地層も異なり安全上問題ないと考えています。（N値は、地盤の固さを示す値）
	5	シールド工事の施工中に振動発生するのか確認したい。	シールド工法は、下水道局で多数実績があり、基本的には揺れ等なく安全に施工出来る工法です。今回も整備する深さ等を考慮し、安全に施工出来る工法として選定していますが、万が一、工事開始後に気になる点があれば、下水道局の工事部署に問い合わせていただきたいと思います。
	6	第二成増幹線の工事中に騒音が発生するのか確認したい。	工事施工中は、低騒音の機械を使用するなど騒音に配慮し施工します。

第二成増幹線整備事業に関する説明会（令和5年2月17日（金）開催） 質疑応答一覧

項目	No.	ご質問・ご意見	回答
白子川への影響に関すること	7	大雨時に白子川の水位が上昇した場合、白子川へ放流出来なくなるのではないか。	降雨時に第二成増幹線に水が入り、幹線内の水位が上がると第二成増幹線上流側の水位が白子川より高くなり、白子川へ流れていきます。また白子川から逆流しないよう検討しています。なお降雨後に第二成増幹線内に貯まった水は、ポンプを用いて排水する計画です。
	8	白子川から水が逆流することはないと確認したい。	白子川への吐口付近にゲートを設置し、白子川からの水が逆流しないよう対策を検討しています。
その他	9	本日の説明会資料は、インターネット上に掲載されるのか確認したい。	本日の説明会資料は、ご案内したWeb上に掲載します。
	10	第二成増幹線内の沈殿物などは、どのように対応するのか確認したい。	日常の維持管理作業で点検・清掃していくことになります。
	11	説明会は、今回で最後になるのか確認したい。	事業の説明会としては、今回が最後です。工事施工前には工事説明会を行う予定です。